

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域生活応援センター やまさん (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年12月22日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年12月22日		～ 2026年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備の充実、バリアフリー</li> <li>福祉機器の導入(天井走行リフト、スイングリフトなど)</li> <li>営業時間(祝日や長期休暇等1日利用時8:00～18:00)</li> <li>給食の提供(さまざまな食事形態、アレルギーにも対応)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別療育時など、対象児童にあわせて、パーティションで仕切ること、集中できる環境作り</li> <li>活動に合わせた環境設定がしやすい。(運動時は、スイングや滑り台など遊具を設置するが、制作などの机上活動時は、机を並べる等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別で療育できる時間を有効に活用し、対象児童について深く知りながら、その子に合った支援方法を模索していく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職配置(OT、看護師など)</li> <li>入浴設備の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用児童が少ないため、1人ひとりと十分に関わりながら、支援をすることができる。</li> <li>多職種連携を図ることができる。</li> <li>医療的ケアの受入れ</li> <li>入浴支援の実施(重症心身障害児・医療的ケア児)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種間で連絡を図り、日々の意見交換の場を設ける。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>午前中は対象児童1名で十分に個別に関わる時間を設けているが、午後からは放デイの利用児が多く来所するため、集団活動への参加となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放デイ利用児が多く来所すると、対象児童にとっては集団活動できる部分もあるが、年齢や発達段階も異なるため、活動内容を設定しにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>午後からの放デイ利用児が来所した際も、対象児童と発達段階が同じ児童とグループ化して、集団活動を行っていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験のある職員がいない。(長年、療育に携わっている)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に療育などについての勉強会(月2回)を開催し、日々の支援に役立っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらなる資質向上のため、定期的に、職員間で療育に関する研修会や勉強会などを開催し、療育への理解を深める機会を設ける。</li> <li>他事業所の見学など、学びの場を設ける。</li> </ul>
3			